

## 令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立竹の塚小学校 校長 桐敷 芳子

## 1 学校教育目標

- ①考える子：様々な問題を解決するために多様な考えをもてる子  
 ②やさしい子：よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子  
 ③たくましい子：困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かって努力しつづける心と体をもつ子

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①児童の読書に対する関心・意欲を高め、確かな学力と、豊かな人間性を育む。  
 ②多様な資料から目的に応じた情報を選んで、自ら課題を解決する能力を伸ばす。  
 ③様々な取り組みや活動を通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。  
 ④学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、進んで読書に取り組む意欲を高める。

## 3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9,082 冊（蔵書基準冊数 7,960 冊）／ 蔵書率 114.1%（元年度末 106%）									
	② 新規購入図書 634 冊 ／ 廃棄図書 106 冊 ／ 増減冊数 528 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.5%	0.5%	6.8%	6.8%	11.8%	4.7%	3.5%	7.2%	3.1%	54.3%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 6時間									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 38冊（前々年度末： 26冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 73%（前々年度末： 75%）									

## （令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9,343 冊（蔵書基準冊数 7,960 冊）／ 蔵書率 117.4%（前年度末 114.1%）									
	② 新規購入図書 489 冊 ／ 廃棄図書 228 冊 ／ 増減冊数 261 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.6%	0.8%	6.3%	6.2%	11.6%	5.4%	3.6%	6.9%	3.5%	54.2%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 6時間（前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 44.0冊（前年度末： 38冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 72.6%（前年度末： 73%）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①いろいろな読みものに興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①学校図書館の使い方を知り、正しく利用することができる。 ②学校図書館を使う授業により、自ら本を選んで進んで読むことができる。 ③学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。		①4月に学校図書館オリエンテーションを実施する。 ②各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ③読書週間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。
目標達成状況	① 4月にオリエンテーションを実施した。毎週利用したことで、使い方を覚えた。 ② 国語や生活科の単元内容に合わせて、本をまとめて借りた。その中から自ら選んで読んでいた。 ③ 年間一人当たり65.2冊で、目標を達成した。	

<b>第2学年</b>	①いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①本のある場所や、しるしの意味を知り、学校図書館を正しく利用することができる。 ②いろいろな本を読み、友達にすすめることができる。 ③自分の興味のある本を探して読書することができる。	①4月に学校図書館オリエンテーションを実施する。 ②年に3回は、本の紹介カードを作成したり、友達と交流したりする。 ③読書週間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。
<b>目標達成状況</b>	
① 図書館支援員の話聞き、国語の教科書の図書指導と合わせて、しるしの意味を知って利用できた。 ② 国語「お話しじゅつかん」の取り組みに合わせて、いろいろな本を友達にすすめて楽しんだ。 ③ 年間一人当たり65.2冊で、目標を達成した。	
<b>第3学年</b>	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守って進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①本の種類と並び方を知り、学校図書館を正しく利用することができる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③興味のある本や、調べたいことについて書かれている本を探して読むことができる。	①4月に学校図書館オリエンテーションを実施する。 ②各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③読書週間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。
<b>目標達成状況</b>	
① 4月に学校図書館オリエンテーションを実施し、正しく利用する仕方について学習した。 ② 週1回以上読書や探究活動の授業で利用した。また、国語や総合の時間等に事典を活用したり、図鑑等から分かったことをまとめたりすることができた。 ③ 年間一人あたり54冊の本を読み、興味のある本や調べたいことについて書かれている本を探して読むことができた。	
<b>第4学年</b>	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守って進んで学校図書館を利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用できるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①本の種類と並び方を知り、学校図書館を正しく利用することができる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③興味のある本や、調べたいことについて書かれている本を探して、進んで読むことができる。	①4月に学校図書館オリエンテーションを実施する。 ②各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ③読書週間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。
<b>目標達成状況</b>	
① 4月に国語の授業及び学校図書館オリエンテーションを実施し、本の種類や並び方を知り学校図書館の正しい利用の仕方を学んだ。 ② 週に一度は読書や探究活動の授業で学校図書館を利用した。本や図鑑から分かったことをまとめたり、事典を使って、意味や漢字を調べたりすることができた。 ③ 年間一人当たり43冊の本を読み、計画的に読書することができた。	
<b>第5学年</b>	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守って進んで学校図書館を利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用できるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>

<p>①分類法の仕組みを知り、興味のある事柄について適切な本を選んで読書することができる。</p> <p>②複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。</p> <p>③年間を通して計画的に読書をするすることができる。</p>	<p>①4月に学校図書館オリエンテーションを実施する。</p> <p>②各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</p> <p>③読書週間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。</p>
---	---

<p><b>目標達成状況</b></p> <p>①4月に学校図書館オリエンテーションを実施し、分類法の仕組みや適切な本の選び方など、学校図書館利用の仕方について学習した。</p> <p>②月に1回は、読書や探究活動の授業で学校図書館を利用した。本や新聞から分かったことをまとめたり、説明したりすることができた。</p> <p>③年間一人あたり13.5冊の本を読んでいた。自宅から本を持って来る児童も増えているので今後も計画的に読書をしていくようにする。</p>	
--	--

<p><b>第6学年</b></p>	<p>①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。</p> <p>②きまりを守って進んで学校図書館を利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用できるようにする。</p>
--------------------	---

<p><b>今年度の成果目標</b></p> <p>①分類法の仕組みを知り、興味のある事柄について適切な本を選んで進んで読書することができる。</p> <p>②複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。</p> <p>③年間を通して計画的に読書をするすることができる。</p>	<p><b>達成基準</b></p> <p>①4月に学校図書館オリエンテーションを実施する。</p> <p>②各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</p> <p>③読書週間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。</p>
---	--

<p><b>目標達成状況</b></p> <p>①4月に学校図書館オリエンテーションを実施し、分類法の仕組みや適切な本の選び方など、学校図書館利用の仕方について学習した。</p> <p>②月に1回は、読書や探究活動の授業で学校図書館を利用した。本や新聞から分かったことをまとめたり、説明したりすることができた。</p> <p>③年間一人あたり21冊の本を読むことができた。</p>	
--	--

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p><b>【蔵書・配架等に関すること】</b></p> <p>①既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業を9月中に完了させ、10月中に配架する。</p> <p>②廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の課題図書について、5月中に登録作業を完了した。6月の時点で、児童が手に取れるように準備した。</li> <li>・図書委員会の活動として、購入希望図書の選書に参加した。</li> <li>・購入図書の大部分は、9月中に登録作業を完了した。9月中に順次配架した。</li> <li>・夏の長期休み前後のタイミングで、除架作業を行った。把握した不足資料を、後期の購入希望図書の選書リストに加えた。</li> </ul>
<p><b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b></p> <p>①学校図書館オリエンテーションの実施や、学級貸し出しの本選びなど、積極的な連携・協働に取り組む。</p> <p>②調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。</p> <p>③学校図書館支援員や、ボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月にオリエンテーションを実施した。(全12クラス)</li> <li>・1～3年生を中心に、定期的な学級文庫の貸出をした。</li> <li>・1～3年生を中心に不定期で単元に関連する資料収集の依頼があった。</li> <li>・学校図書館の環境整備作業を支援した。</li> </ul>
<p><b>【その他】</b></p> <p>①月・木の中休みと昼休みに本の貸し出しを可能とする。夏休みと冬休み中は3冊までとする。</p> <p>②6月・10月・2月に読書週間(2週間)を設ける。ボランティアや図書委員による読み語りや、学校図書館支援員による学級団体本の貸し出しを行う。</p> <p>③調べる学習コンクールに参加する児童が、全校の2割以</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月、木を中心に、中休み・昼休みに貸出返却を行った。通常は2冊、長期休みは3冊貸出可とした。</li> <li>・読書週間に対応したイベントの準備・実施を支援した。(6月「図書ビンゴカード」10月「新着図書案内」2月「図書ビンゴカード」「読書パズル」) 図書委員会と支援員で協力して、学級文庫を選書した。(全12クラス)</li> <li>・図書館の外でも本に触れられるよう、校内に館外展示スペースを設置した。</li> </ul>

上となるようにする。

・調べる学習コンクールに参加する児童が、全校の37%となり、目標値を上回った。

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

昨年度に引き続き、前期は学校図書館では貸出のみで対応を行ったが、後期にかけて、閲覧も可能とした。その結果、一人あたりの年間平均貸出冊数の割合が向上するなど、読書に親しむ児童の数が昨年度よりも増えた。また調べる学習コンクールへの参加者も増え、学校図書館を活用して探究活動をすすめ、自分の考えを表現する力を育成することができている。

読書週間を中心に、年間を通して図書担当教諭と学校図書館支援員が協力しながら読書活動の推進に取り組んだ。調べ学習に必要な資料等については、学校図書館支援員が中心となってレファレンス対応を行った。また、図書委員会が購入希望図書を選書したり、POPを作成したりと、委員会の活動も昨年度に比べて活発化した。

一方で、学年が上がるにつれ、学校図書館をあまり利用しない児童も一定数いる。読書の面白さを伝えていく効果的な方法を学校図書館支援員と協力して検討していく必要がある。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・現在は、図書ボランティアが各クラスに一人ずつ入り、一斉に読み語りを行うことができている。しかし、今後図書ボランティアの人数が減ってしまうと、できなくなる可能性があり、心配である。
- ・感染症対策として、マスクを着用し読み語りを行っているが、マスクをせずに行える日が来ることを期待したい。